

シルバー人材センター会員募集中 ～ 60才以上の皆さん、豊富な経験と知識を活かしてみませんか～



水戸シルバーだより

# 梅林

第80号



公益社団法人 水戸市シルバー人材センター

〒311-4143 茨城県水戸市大塚町1863-169

Tel : 029-303-7272 Fax : 029-303-7288 <https://webc.sjc.ne.jp/mito>

## 女性委員会主催 麦みそ作り体験会を開催しました！

令和6年9月6日、ミオス調理室において、女性委員会主催の麦みそ作り体験会が開催され、午前・午後の部を合わせて36名の会員が参加しました。

女性委員会委員長の挨拶、麦みその説明の後、早速開始です。ボウルにまずは麦麴を入れます。少し固まっていますので、手でほぐします。次に塩、大豆の順に加えてよく混ぜあわせます。仕上げに種水と呼ばれる液体を混ぜ更にこねると、だんだんとまとまってきて、見た目も普段目にするみそのようになってきました。



麦みその説明を受けます

練り合わせた後は、お団子状にしたみそを小さい桶に詰めていきます。最後は、空気が触れないようラップをかけ蓋をして終了！この後熟成発酵させ、1か月半後にできあがるそうです。皆さん和気あいあいと、楽しみながら交流を深めていました。

アンケートでは、『初めてみそ作りを体験しました。とても楽しめました。』『体にいいし、みんなで作るのが楽しい。』『男性も参加でき仲間づくりにもよかったです。』『みそ作りをやってみたかった。できあがりを楽しみ。』と言った声が聞かれ、皆さん大変満足されていました。



どんな味噌ができるかな



一生懸命にこねます



男性陣も楽しく参加

### 目次

- 麦みそ作り体験会…………… 1
- 定時総会・受賞者の声…………… 2
- 交通安全講習会…………… 3
- 安全就業推進大会…………… 3
- 就業先訪問・史跡巡り…………… 4
- 作品コーナー…………… 5
- ボウリング大会…………… 5
- 互助会総会…………… 6
- サークル紹介・編集後記…………… 6

令和6年度定時総会開催

令和6年度定時総会が、6月20日に内原市民センターホールで開催されました。総会の冒頭に加倉井理事長から次のような挨拶がありました。

「新型コロナウイルス感染症はまだ続いている状況ですが、センターの会員は高齢者の団体であるので、健康に気を付けていたきたい。

センター会員は、健康で働いている方が多い。人生1000



挨拶をする加倉井理事長

年、まだまだ頑張っていたきたい。高齢者の生きがい充実、社会参加促進など、センターの果たす役割は益々大きく期待されています。」

その後、今年度の事業計画及び収支予算並びに昨年度の事業内容が報告されました。また、昨年度の決算報告内容及び役員報酬に関する規定の一部改正案に係る議案の説明があり、採決の結果、原案どおり可決・承認されました。

なお、令和6年度第2回臨時総会が7月16日にシルバー人材センター会議室で開催され、理事14名、監事2名の役員を選任に係る議案の説明があり、採決の結果、原案どおり可決・承認されました。

永年在籍会員表彰

定時総会において永年在籍会員表彰の紹介がありました。受賞者は、在籍30年は藺部孝子さん1名、在籍20年は白石栄子さん始め9名、在籍10年は29名でした。

受賞者の喜びの声



永年在籍会員 (在籍30年) 藺部孝子さん

今年度、永年在籍会員30年として表彰され、うれしく思っております。友人の紹介で入会以来、楮川ダムで場内のお掃除や草取りを週3〜4日、現在も働き、頑張っています。

仕事で注意していること



永年在籍会員 (在籍20年) 白石栄子さん

退職後急に暇になっていったとき、シルバー人材センターのチラシを目にして何か社会貢献できるかなと思い、入会しました。

仕事としては、当時行っていた日曜保育の補助や習字教室。通っていた子が「書き初

は、常に怪我をしないように心掛けています。また、相手の立場に立って考え、声をかけ、出来ることは協力し合っています。

入会してよかったことは、人と人の繋がりを心掛け、人間関係を大切にして、たくさん友人ができたことです。

健康を維持するために心掛けていることは、常に働いていることです。それから、食事も自分の畑で作った野菜を多くとって、いろいろなものをしっかりと食べるようにしています。

め大会で金賞になった。」と報告してくれたときは共に喜び、努力をたたえました。元気な子ども達との幸せな日々でした。つい最近まで水戸城跡内にある展示館の施設管理をしていました。掃除・鍵当番が主な仕事ですが、全国から来られるお客様の接遇も大事で、水戸の良さを発信できる貴重な時間でした。楽しく充実した日々を仕事としてできたことは、シルバー人材センターに感謝です。↖

交通安全講習会開催

水戸警察署の担当官による交通安全講習会が、6月4日と13日にセンター会議室で開催され、多くの会員が真剣な眼差しで講師の話に耳を傾けていました。

令和5年の県内交通事故死亡者は93名（全国ワースト10位）で、うち高齢者は25名でした。事故原因の多くは、前方不注意やブレーキとアクセルの踏み間違いによるものです。

自転車走行中、転倒した際ヘルメットがあれば頭への衝撃が減り、命を失う可能性が低くなります。自転車運転の際には、ヘルメットを着用してください。



講義する水戸警察署担当官



熱心に話を聞く参加者

信号のない横断歩道で停止している車を追い越し、歩行者をはねる事故が発生しています。横断歩道手前におけるひし形の横断歩道予告マークの先に車が止まっていたら、追い越しせずにと停車してください。

見通しの悪い路地から広い道に出る前などに一時停止の標識がありますが、見通しのきく所まで出て一時停止することは間違いです。停止線で一旦停止し、それから徐行して見通しを確認してください。

安全就業推進大会に参加して

茨城県シルバー人材センター連合会（県シ連）主催の令和6年度安全就業推進大会

趣味としてグラウンドゴルフ、スポーツ吹矢に参加し、楽しく活動しています。また、観光ボランティアとして12年目に入りました。お客様との交流を大切にし、再度水戸を訪れてくださるよう真心をもって案内しています。

が、7月3日にセキショウ・ウエルビーイング福祉会館で開催されました。

今年6月に就任した加倉井県シ連会長（当センター理事長）並びに、茨城労働局及び茨城県のご来賓から挨拶があり、その後、城里町シルバー人材センター（SC）と東海村SCが表彰されました。

次に、安全就業対策推進委員会の長山副委員長から、重篤事故につながる就業の見直し等、各SCで取り組むべき事項や重篤事故の発生状況の報告がありました。

その後、東海村SCから安全就業の取り組みに係る事例発表がありました。東海村SCでは、役員を中心に月に1回就業現場巡視を行っています。また、罰



講演する東海村SC 小野間部会長

則規程を定め、規則違反者や物損事故等を起こした会員に訓戒や一定期間の就業停止を課し、場合により修理費を負担してもらっています。

最後に、株SMサービスの木梨様から刈払い作業時の飛石防止策や石を飛ばさないハサミ方式の刈払い機の使用について、非常に役立つ講演がありました。

ます。これらが私の元気の源になっています。

最後にシルバー人材センターの仕事を通して、多くの良い友・仲間に出会うことができました。私の財産です。

この度は記念品も頂き、本当にありがとうございました。

就業先訪問

水戸市民会館で開催されました「鉄道模型体験ランド」取材しました。

シルバー人材センターからは7月26日～8月4日までの期間派遣として22名が就業しました。仕事内容はアトラクションの補助で、チケットの受け取り、体験監視、プラレール展示品の電池交換、計測等です。

土・日は入場者が多く、多忙を極める状況でした。

最終日は、イベント終了後、会社の方と共に総動員で片付けを行い、大変な作業だったそうです。



出発進行、よし！

鉄道模型体験ランド  
花園製作所様



展示品に触れ喜ぶ親子

就業した会員からは「とても楽しかった」「子ども達から教わる事が沢山あった」「会員同士の交流を深めることができました」等々の声が聞かれました。花園製作所の社長さんに「今回シルバーの皆さんに就業してもらった感想はいかがでしたか？」とたずねました。

「シルバーという名の皆さんでしたが、若々しくお元気で、仕事も年齢を重ねただけあって、よく気がつき、よく動いてくれて、主催者としてはとても満足しています。」と、うれしい声を聞くことができました。

史跡巡りに参加しました



観光ボランティアの白石会員

女性委員会主催の史跡めぐりが5月17日に開催され、19人が参加しました。

真夏のような日差しを浴びながら観光ボランティアの方の説明に興味深く聞き入っていました。弘道館では「水戸学」を学んだ様子について聞き、そして「水戸学の道」に沿って大手門、彰考館跡、二の丸展示館、薬医門、二の丸角櫓などを見学し、すっかり歴史に浸りました。参加者は、時間が足りないくらい「じっくり」と見学している様子でした。角櫓を見学して、各々解散となりました。

この史跡めぐりで「弘道館」の理念「一張一弛」、「優れた人材育成」、現在でも通じる一言

がとても印象に残りました。観光ボランティアの方のとても詳しい丁寧な説明を頂き、誠にありがとうございました。また、次回をお楽しみに……。



史跡巡り参加者一同



大手門の前で

春・夏・秋・冬

作品コーナー

書道

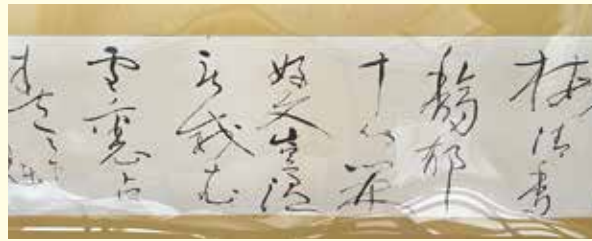
渡辺 裕子

幼少時代から字を書くのが好きで、一生の趣味として40歳を過ぎから書道を始めました。講師の先生の下、厳しい実技講習を受け、書道師範の資格を取りました。

現在はセンターの筆耕会員として仕事をしています。

依頼主の方からの感謝の言葉が、作品を作るより一番うれしいものです。

仕事を通じて自分の能力を発揮でき、社会の誰かの役に立つことが大きな喜びです。



このコーナーに掲載する作品を募集しております。絵画、絵手紙、切り絵、盆栽、写真等何でも結構です。事務局にご二報ください。

14年振りのボウリング大会が開催される!

平成22年に開催された以降、14年ぶりのボウリング大会が、互助会主催で7月23日にグリーンボウルで開催されました。男性25名、女性14名、総計39名の参加者でした。

藤沼会長による挨拶の後、体をほぐす準備体操をして、プレー開始。皆が「何年ぶりかな？」などとお互いに話しながらボウルを投げていました。

ハンデイヤップは、年齢別、性別ごとに付き、和気あいあいと若いころに戻り、ゲームが進行していききました。思うようにピンを倒すことができず、また、



開会の挨拶をする藤沼会長



ナイススロー

ボウルが途中でレーンを外れて行ってしまうことも多く、過ぎ去った年月、過去の若さを感じずにはいられませんでした。

最後の楽しみは表彰式・・・。5位までの表彰のほか、5位ごとの飛び賞やブービー賞、2ゲームの合計得点に発表された3つの数字が入っていたらもらえるラッキー賞もあり、入賞した人、しなかった人、発表のたびに喜びの声があがり、とても楽しいボウリング大会となりました。

- 優勝 高柳みち子さん 372
  - 二位 天神和子さん 338
  - 三位 飯田伸一さん 300
- おめでとうございます。

## 互助会通常総会

令和6年度互助会総会が6月20日、定時総会に引き続き開催されました。川又会長の挨拶の後、令和5年度の互助会活動として、9月に親睦旅行を計画し募集したが、参加者が少なく中止したこと、11月に芸能大会が開催され、多彩な演奏で日頃の練習成果が披露されたこと、また、2月には初めてのシルバー寄席&大抽選会が開催され、落語家と漫談家の話芸と大抽選会で盛り上がり、大好評であったことが報告されました。



挨拶をする川又会長

また、カラオケ、ウォーキング及び囲碁サークルについては、約3年間のコロナ禍での活動自粛の間にメンバーの高齢化が進み、出席者が少なくなり、昨年度をもって解散された旨の報告もありました。

その後、令和5年度収支決算書、令和6年度事業計画案及び収支予算案、互助会会則変更案、並びに任期満了に伴う互助会役員の選任案についての説明があり、採決の結果、すべて、原案どおり承認されました。

なお、退任した川又会長に代わり、新会長に藤沼役員が選出された旨、報告がありました。

## ソフトボールサークル

**初優勝！**

4月28日に行われた水戸市主催ソフトボール春季大会で、シルバー人材センターソフトボールチームがスローピッチ方式での大会で初優勝しました。今回優勝したことは、シルバーソフトチームで初めての快挙です。チームは、年間を通して毎週



喜びのソフトボールサークル会員

土曜日に東野市民運動場のグラウンドで練習をしております。以前は練習参加人数が5〜6人でしたが、現在は地域の若いチームとの合同練習で常に12〜13人が参加しており、紅白試合も行っています。今回の優勝は、そういった活動の成果が表れた結果だと思えます。

今後は、秋季大会も優勝を目指して頑張っていきます。ソフトボールサークルではメンバーの募集をしております。ぜひご参加下さい。お待ちしております。

代表 井坂文夫

## ◆編集後記◆

地球温暖化のせいかわ、今年の夏も異常な暑さが続きました。今はエアコンや扇風機があり、何とか暑い夏も過ごせますが、文明の利器のなかった子供のころは大変でした。昭和30年代始め、田舎の山間部に住んでいましたが、扇風機もなく、夏の夜は窓を開け、蚊帳の中に両親と子供5人が寝ました。山から谷に吹き下ろす山風も蚊帳で勢いを失い、また、体から出る熱もあり、うだるような暑さだった記憶があります。幸い団扇がありましたので、扇いでいるうち疲れて寝入ることができました。

しかしながら、よく考えますと、エアコンや扇風機は電気力で動きますが、発電には大量の石油や石炭が燃やされており、排出する二酸化炭素が地球温暖化に拍車をかけています。扇風機はともかく、エアコンの温度設定は控えめにしたいものです。

(山本)